

令和7年度 沖縄県立沖縄ろう学校 学校評価（保護者） 回答率:15/38名(39%)

4段階評価(A:かなり思う、B:やや思う、C:やや思わない、D:かなり思わない)

No	評価項目	評価結果の比率				
		A	B	C	D	未回答
1	<p>本校の教育目標は、子どもたちの実態や保護者、地域の皆様の願いを踏まえたものになっていると思う。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・聴覚障がいのある児童の実態や保護者の願いを理解しようとしているのかわからない。県内唯一のろう学校であるのに、県内から通おうとする児童を受け入れようとする体勢を整えようとしているのか、一部の通える児童のみへ開かれた学校なのかと思うところがあります。例えば、スクールバスなど、児童が学校に通うにあたって必要なツールの一つなのに、ルートや時間の改善が見られず、早期に一方的に決定通知をいただきましたが、理解に困ります。</p>	9	5	1	0	0
2	<p>本校では、聴覚に障害がある子どもたちに応じた、教育活動が行われていると思う。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・聴覚障害児の教育をしていることすら知らなかった。 ・学びと遊びの時間の切り替えがあると、さらに学びが充実すると感じます。</p>	10	4	0	0	1
3	<p>本校の教育活動全体を通じて、あいさつや他人に対して感謝と思いやりの心をもつ、社会のルールを守るなどの望ましい生活習慣の指導に努めていると思う。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・もう少し、挨拶が飛び交ってもよいかな？と思う。子どもの性格にもよるかもしれませんが</p>	9	6	0	0	0
4	<p>本校では、子どもたちに基礎的・基本的事項の確実な定着を図るために、個に応じた指導の工夫に努めていると思う。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・自立活動などで、個のニーズに応じた指導をさせていただいていると感じています。ありがとうございます。</p>	11	4	0	0	0
5	<p>本校では、子どもたちの障害の状態等に応じて、コンピュータ等の情報機器を活用するなどの工夫をしていると思う。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・使っているかどうかよくわかっていません。 ・行事などでの情報機器を活用した視覚からの情報を得られるような工夫や、中学年以降の発表の際のパワポの仕様など児童も機器を使えるような支援があるのだと感じています。</p>	5	8	1	0	1
6	<p>本校では、子どもたちの将来の進路（就学・進学・就労など）選択に向けて、各学部で発達段階に合わせて計画的に進路指導に努めている。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・聴覚の障がいがあっても、いろんな専門分野で働く先輩に会う機会などを作っていたり、講演会などを企画していただいていると感じています。現実にはなかなか厳しいかもしれませんが、指導にあたる側が、子どもたちの可能性を信じてより広い視野で将来の進路を考えてもらえたらと感じます。</p>	7	6	2	0	0
7	<p>本校では、子どもたちのよい点や学習の進歩状況などを積極的に評価し、指導の改善を行い、子どもたちの学習意欲向上に努めていると思う。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・評価基準が、本当に発達段階に合っているのかと感じます。一度評価基準の見直しが必要と感じます。指導者がカリキュラムに追われた焦りの中で子どもたちに関わっているように感じ、子どもたちへの影響がないかと心配になる時があります。</p>	9	5	1	0	0
8	<p>本校では、各学部の発達段階に合わせた様々な校内・校外での体験活動（創作活動やバス利用、買い物、公共施設利用など）を取り入れた指導を通し、社会自立に向けた指導を行っている。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・聴覚障がいのある児童にとって、社会自立ってなんだろう？と感じます。聞き逃し・聞き間違いがあることを周りに伝えていき理解を求めていくこと。個としてその命が輝くように、自分も周りの人も大切にできるように、生きる力を育むために、何ができるかの、どんなアプローチがあるのか模索しています。</p>	9	5	1	0	0
9	<p>本校では、幼児児童生徒が主体的で意欲的に学校図書室を利用するよう促すための学習活動や読書活動の充実に努めていると思う。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・保護者の借りれる冊数が少なくなった。 ・一人で自由に図書室に行けるのではないかと感じますが、大人の付き添いが必要なのではないでしょうか？</p>	7	7	1	0	0
10	<p>本校では教育相談や健康相談等について、子どもの指導や心身の健康についての相談に対し、真摯に対応していると思う。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・教育相談という機会があったのでしょうか？面談は先生方からの情報提供の時間が多く、相談する機会にはなっていないように感じます。</p>	9	6	0	0	0
11	<p>本校では、地域の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等と連携を図り、交流及び共同学習を行っていると思う。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか)</p>	6	8	1	0	0
12	<p>本校は子どもたちの安心・安全な学習環境を図るために避難訓練等の防災訓練を行っていると思う。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・雨の日の避難訓練について 実際の災害を想定して 補聴器等を外し、外へ(難しければ外と仮定して屋内でも)避難する訓練もやってみるのはいかがでしょうか。着替え等、他にも配慮する点は多いと思いますが…</p>	9	6	0	0	0
13	<p>本校では、情報保証のための教育環境の整備（集団補聴システム等）や施設設備（パトライト、掲示板・電光掲示板等）の充実に努めていると思う。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・わからない</p>	10	4	0	0	1

14	本校では、PTA活動（PTA総会・PTA評議員会・交流スポーツ大会・手話研修会等）は活発であると思う。	6	9	0	0	0
	備考 (意見・改善策ほか)	・運動会のPTA競技も工夫があり、楽しめた。 ・手話研修会は、開催日時の調整があれば参加しやすくなると思います。				
15	本校では学校からの便り（学部や学年、学級便り、図書、保健、給食、寄宿舎など）を通して、保護者に情報を絶えず提供し、機会あるごとに意見を求めていると思う。	11	4	0	0	0
	備考 (意見・改善策ほか)	・スクリーン導入など電子化になり、より一方的な情報提供になっていると感じる。年間予定行事の変更がある場合は、午前日課で終わるときなどは、病院受診の予約や、仕事の調整が必要なので、せめて、前の月の初旬には、変更したことを伝えてほしいです。				
16	学校は、幼児児童生徒の教育的ニーズに応えるために真摯に取り組んでいると思う。	10	5	0	0	0
	備考 (意見・改善策ほか)	・保育園とろう学校幼稚部の併用ができるようになったことは、大変感謝しています。ろう学校では、専門的に小人数、保育園で身体を使った集団活動を体験できています。通学バス送迎の課題に向けて、もっと力を入れて取り組んでいただきたい。 ・おかげさまで、学びが楽しい！と感じている様子はあります。ただ、こどもの教育的ニーズというよりは、カリキュラムに応じた教育になっているのではないかと感じています。				
17	学校では、いじめ防止に向けた対策を行っていると思う。	5	7	1	0	2
	備考 (意見・改善策ほか)	・どのような対策が行われているのかはわかりません。				
18	学校では、子どもたちへの体罰は行われていないと思う。	10	5	0	0	0
	備考 (意見・改善策ほか)	・体罰はないと感じます。『ダメ』『できない』など言葉の伝わり方はそれぞれなので、児童に関わる際の言葉には配慮してもらえたらと思います。				
学校をさらによくするために、要望・意見がありましたらお書きください。						
<p>・人数が、少ない利点をフルに活用して、臨機応変に対応してもらいたい。保護者とも密に関係が築きやすいのをしっかり生かしてほしい。今回の運動会はとても良い例だと思います。補聴器、人工内耳などの保証を保護者に委ね開催しても良かったと思います。2年に1度しか行わない行事、保護者にとっても、生徒、児童にとっても大切な行事ではないかと今回の対応は非常に残念でした。</p> <p>・エアコンの故障が多く、予定していた行事が変更したり、暑すぎてしんどい。全体を直そうとせず、各部屋に家庭用エアコンとかでも構わないので、施設環境を整えて欲しい。今年の夏も、また…点検してます、修理はしているけど…等、表向き動いているような話しはやめてほしいです。去年、一昨年より前進できるよう対策をお願いします。</p> <p>・沖縄県内の聴覚障がいのある子どもたちが、ろう学校を利用したいと考える際に、一人でも多くの子どもたちにとって開放的な学校であってほしいです。県内の子どもがろう学校に通うためには、スクールバスのルートや時間の再検討をしてほしい。保護者と対話して決めてほしい。バスの変更が難しい場合は、代議案として朝の受け入れや、帰りのバスまでの待機ができるような体勢を考えてほしい。ファミリーサポートなども利用して調整しているがなかなか継続するのが難しい。地域の学童の利用も現実的に難しい中で、保護者が仕事をしながらも、通えるような学校になりませんか？</p>						

令和7年度 沖縄県立沖縄ろう学校 学校評価(児童生徒) 回答者:6名※対象者は児童生徒のうち回答が可能な者

4段階評価(A:かなり思う、B:やや思う、C:やや思わない、D:かなり思わない)

No	評価項目	評価結果の比率				
		A	B	C	D	未回答
1	毎日、学校へ行くのが楽しい。	3	2	1	0	0
2	学校は、教室やトイレなど、きれいである。	3	3	0	0	0
3	学校では、いじめがない。	3	0	0	3	0
4	学校では、いつも元気よくあいさつが行われている。	4	2	0	0	0
5	学校では、先生や友達のことばづかいが、丁寧である。	4	2	0	0	0
6	校外学習や料理実習などの体験学習を行っている。	4	1	1	0	0
7	先生は、わからないところを、ていねいに教えてくれる。	5	1	0	0	0
8	先生は、よくほめてくれる。	3	3	0	0	0
9	先生は、教え方をいろいろ工夫して、わかりやすく教えてくれる。	5	1	0	0	0
10	先生は、将来のことや進路について、よく話してくれる。	4	1	1	0	0
11	担任の先生以外にも気軽に話やそうだんができる先生がいる。	4	2	0	0	0
12	児童生徒会活動がかっぱつである。	3	3	0	0	0
13	他の学校と交流及び共同学習を行っている。	2	4	0	0	0
14	学校には危険な場所はなく、安全に過ごせる。	5	1	0	0	0
15	スクールバスの運転は安全である。	6	0	0	0	0
<p>どうすれば楽しい学校をつくれると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうやっても楽しくならない。 ・みんなでいっしょに遊ぶと楽しいと思う。 ・中学生と高校生と一緒に楽しみ会をしたり、お疲れ様会をしたりなど みんなが楽しめることを考えたら、たのしい学校がつくれると思います！ ・みんなと一緒に遊びたいです♪ ・友達と楽しく過ごす。 						

令和7年度 沖縄県立沖縄ろう学校 学校評価（職員） 回答率:33/66名(50%)

4段階評価(A:かなり思う、B:やや思う、C:やや思わない、D:かなり思わない)

No	評価項目	評価結果の比率				
		A	B	C	D	未回答
1	<p>教科学習、体験学習、学校行事等教育活動の全体を通じて、言語力が高まるよう一貫性・統一性のある指導の工夫・改善に取り組む。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・研究の方向性を学部で示したことによってやる事が明確になったので、一貫性を持って教育活動に臨むことができた。 ・特に授業改善の取り組みによって、工夫改善が進んだと思う。 ・職員が意図的に体験学習などを設定し、その中で言語力が高まるようにしている。 ・ただ、学部での考え方の摺り合わせに課題が残る。</p>	14	17	2	0	0
2	<p>わかる授業の工夫により基礎学力の定着を図る。（基礎基本的事項の徹底、概念の形成、国語力の推進、ICT機器等の活用）</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・毎日の朝の活動や授業の導入で基礎の定着に取り組むことができた。</p>	14	19	0	0	0
3	<p>発達段階及び生活年齢に応じた応じたキャリア教育の充実と個のニーズに即した進路指導の充実に努める。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・各学部でどんな進路指導を行っているのか校内での情報共有が少ないと思う。キャリアパスポートが次の学部でどのように活用されているのかも不透明。また、高等部から大学へ進学できるだけのカリキュラムが整っているのかも不透明で、保護者から「高等部から大学へ進学できるか」聞かれたがうまく答えられなかった。目の前の生徒も大切だが、次に進学してくる子どもも見据えて情報発信や学ぶ環境を整えてほしい。 ・進路に関しては話題に出すことはあるが、個のニーズに即した進路指導まではしていない。 ・努めていると感じるが、職員向けの周知だけでなく、保護者向けにも発信してほしい。本校は、他の特別支援学校と比較して、進路指導に関する取り組みが弱いという印象を持っている保護者が多いように思う。 ・学部、学年が上に行けば行くほど、子どもたちの人数が少なくなっているためなのか、大学や専門学校に行こうとする気持ちがあまりみられないような気がする。ロールモデル不足？ ・ただし、全学部でみた系統的な指導という面ではまだ課題が残る。</p>	10	18	5	0	0
4	<p>教職員の専門性（知識・技能及び指導力）を高め、幼児児童生徒一人一人を大切にしながら豊かな人間性を育む教育活動を図る。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・専門性を高めるための研修を行っているが、身につけているかは正直定かではない。職員一人一人が自分事として捉えるためにはまだ課題が残っていると感じる。 ・教師が生徒、1人1人にあった教育ができていると思う ・まだ児童生徒の前で手話を用いない場面が多く見られ、人間性を育む面ではまだ課題が残る。</p>	17	13	3	0	0
5	<p>聴覚障害教育のセンター的役割の充実に努める。（教育相談、通級指導、関係機関との連携、情報発信、理解啓発等）</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・充実を図っているとは思いますが、外部向けに誰がどのような支援をどの程度行っているのか校内からは見えにくい。担当者が入れ替わってもセンター校としての機能を継続的に担保するためにも、校内での情報共有をもう少し行ってほしい。 ・乳幼児教育相談を始めとして、センター的役割は十分に果たしていると感じる。 ・新聞社の記事に取り上げられることが増えてきているので、センター的役割としての役割を充実につながっていると思うが、校外でどのような内容を発信しているのかなどの共有を校内向けに行うことも必要だと思う。 ・しっかりと外部と連携した教育をしていると思う</p>	23	10	0	0	0
6	<p>あいさつの習慣化及び生徒指導に関する報告・連絡・相談の徹底を図る。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・あいさつの習慣はついているように感じるが、子ども同士のあいさつに関してはまだ未熟な部分があると思う。 ・中高で生徒指導部を1人にまとめる話が出ているが、この面において懸念がある。</p>	10	18	4	1	0
7	<p>保護者の信頼と協力を得よう、学校取扱金の執行管理の徹底を図る。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・係に任せるだけでなく、保護者からの質問に答えられるよう取り扱い金の流れを把握しておく必要がある。</p>	18	15	0	0	0
8	<p>効率的で安全なスクールバスの運行及び給食・舎食の安全かつ衛生的な提供など、委託業者との連携を密に図る。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・仕方ないことだとは思いますが、スクールバスの学校到着時間をもう少し早めて頂けると嬉しい。1校時に支障が出ることもある。 ・雨天などでスクールバスの到着が遅れることが増えているような気がする。昨年度から時程が変わったこともあり、学級活動に影響が出ている。</p>	21	12	0	0	0
9	<p>はなさき支援学校との共用となる施設・設備の効果的、かつ適切な使用に努める。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・2校連絡会を通して細かい調整をさせていただいて助かります。ただ、駐車場の調整が年々増えているように感じます。はなさきの行事については、はなさきの駐車スペースを工夫してもらうことは難しいのでしょうか。 ・予定にないはなさきの体育館使用が度々見られる。授業に支障をきたす場面も何度かあったため共用施設の利用についてはお互いに報告、連絡を徹底したい。 ・お互いに急なお願いに対応できると思うが、予定にない時間に施設を使用することがある。また、時程に若干の差があるので、それぞれの時程で動くことも大切だと思うが、共用施設を使用する場合には何時までは授業を終えるなど、お互いの授業に影響が出ないようにすることが必要。 ・ただし、何でもかんでも共用という方向にならないようバランスを取る必要がある。</p>	14	16	3	0	0
10	<p>個別の指導計画を踏まえたPDCAサイクルの構築により、学習計画・評価や教育課程編成へ繋がるカリキュラム・マネジメントの推進に努める。</p> <p>備考 (意見・改善策ほか) ・指導計画をもとに授業を進められている。学習の中にも振り返りの場面を設定することで、子ども達自身が学びを振り返る機会を設定できている。</p>	9	22	2	0	0

	学校教育を通して身につけた知識及び技能を活用し、持てる能力を最大限伸ばすことができるように生涯学習への意欲を高める。	8	22	3	0	0
11	備考 (意見・改善策ほか) ・学校で学んでいることが将来の何に繋がるのかを子どもたちに伝え切れていないように感じる。大人が学び続けている姿を子どもたちにも見せないと、子どもたちも学ぶ意味を感じられないのでは。 ・学んでいる学習が今後どのような場面で役に立つのかを授業の中で話すようにしている。何のための学習か、学んだ知識、技能をどう活用すれば良いかを意識できるようにしている。 ・そのためには、授業以外の活動を充実させ、授業で学んだことをどのように活かしていくか経験させる必要があると考えるが、現在は授業以外の活動を縮小させようという方向に向かっているのを懸念している。					
	各学部と寄宿舎は連携を密にし、児童生徒の課題について共通理解し、指導に努める。	16	13	4	0	0
12	備考 (意見・改善策ほか) ・学習時間や学習内容において寄宿舎の考え方や学級が取り組んで欲しいことに考え方の違いがあるように感じる。 ・適宜連絡などを行うことはできていると思うが、その児童生徒にあった対応や1年間でどうなって欲しいかなどの具体的な達成目標を共有できていない。食事の仕方など、学部と寄宿舎では食事の取り方に違いがある。 ・担任の先生を中心に寄宿舎としっかりと連携して学習などに取り組んでいると思う					
	寄宿舎は基本的な生活習慣の定着を図り、個々に応じて健康・安全で豊かな生活をおくれるよう指導に努める。	20	13	0	0	0
13	備考 (意見・改善策ほか) ・将来の自立に向かって学習会を開催したりと、豊かな生活に向けての取り組みが充実しているように思う。 ・日課を進める上での支援の有無は生徒によって異なるが、なるべく自分の力でできるように、少しずつチャレンジしてもらおう促すことも大切だと感じました。(例:シーツの取り外しの際、高等部Tさんはいつも支援を求めていたが、単に手伝って外してあげるのではなく、綺麗な外し方やコツを教えてゆっくり行った。その結果、自分のペース・自分なりのコツを見いだすことができるようになっていた。)					
	感染症防止対策を含めた安全教育の推進、安全管理体制の構築を図る。	18	14	1	0	0
14	備考 (意見・改善策ほか) ・熱中症警戒レベルの掲示、よかったと思う。 ・保健便りを通して健康、安全に関する情報発信は十分にしているように感じる。					
	同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができている。	8	19	6	0	0
15	備考 (意見・改善策ほか) ・個人的には人間関係は良好だと思っている。 ・しっかりと意見を共有して学校をより良くしていくような取り組みをしていると思う ・手話がなくなる場面における相互の声かけがほとんど無い。					
	個人の裁量(ゆとり)ある時間が確保できている。	2	12	15	4	0
16	備考 (意見・改善策ほか) ・職員によって業務の量が違いすぎると思う。業務量が少ない人はゆとりがあって、業務量が多い人はゆとりがないように感じる。年齢や勤務年数に応じて、職員一人ひとりが仕事をとっていかないといけないと思う。 ・ゆとりある時間はない。業務に追われてはいるが充実している。 ・聴覚障害教育に関する校内研修等、充実していて感謝している。ただ、それに加えて日々の業務が重なり、自分自身のゆとりのある時間はほとんど無いと感じている。 ・昨年度と比べると個人の時間を確保するために様々なことを精選する動きがある。 ・放課後の時間がいっぱいゆとりの時間は少ないと思う					
	一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができる。 児童生徒、保護者とかわりを築くことができる。	17	16	0	0	0
17	備考 (意見・改善策ほか) ・連絡帳、送迎時、面談を通して保護者との信頼関係は深まっていると感じる。児童とも毎日の会話の中でお互いのことを話すことで信頼は深まっていると感じる。					
	より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。	17	15	0	1	0
18	備考 (意見・改善策ほか) ・県外講師の話を聞く機会が多く、学びに繋がる1年だったと思う。 ・研修は充実しているが、教材研究にあてる時間が足りない。また、職員一人一人が自分事として捉えてない部分があると思う。 ・手話研修会や、その他研修を開いてくださりありがとうございました。 ・各学部でのテーマ設定の裁量がほしい。					
	心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができている。	3	11	9	2	8
18	備考 (意見・改善策ほか) ・忙しくて快適とは言えないが、子ども達のために充実した時間を過ごせているとは感じる。 ・聴覚障害職員の心理的負担が大きい。					

令和7年度 沖縄県立沖縄ろう学校 学校評価（学校評議員） 回答率:2/4名(50%)

4段階評価(A:かなり思う、B:やや思う、C:やや思わない、D:かなり思わない)

No	評価項目	評価結果の比率				
		A	B	C	D	未回答
1	本校の教育目標は、子どもたちの実態や保護者、地域の皆様の願いを踏まえたものになっていると思う。 ※本校の教育目標 聴覚に障害のある幼児児童生徒の持てる力を最大限に伸ばし、生きる力を育み、自立し社会参加できる人間を育成する。	1	1	0	0	0
	備考 (意見・改善策ほか)					
2	本校では、聴覚に障害がある子どもたちに応じた、教育活動が行われていると思う。	1	1	0	0	1
	備考 (意見・改善策ほか)					
3	本校の教育活動全体を通じて、あいさつや他人に対して感謝と思いやりの心をもつ、社会のルールを守るなどの望ましい生活習慣の指導に努めていると思う。	2	0	0	0	0
	備考 (意見・改善策ほか)					
4	本校では、子どもたちに基礎的・基本的事項の確実な定着を図るために、個に応じた指導の工夫に努めていると思う。	1	1	0	0	0
	備考 (意見・改善策ほか)					
5	本校では、子どもたちの障害の状態等に応じて、コンピュータ等の情報機器を活用するなどの工夫をしていると思う。	1	1	0	0	0
	備考 (意見・改善策ほか)					
6	本校では、子どもたちの将来の進路（就学・進学・就労など）選択に向けて、各学部で発達段階に合わせて計画的に進路指導に努めている。	1	1	0	0	0
	備考 (意見・改善策ほか)					
7	本校では、子どもたちのよい点や学習の進捗状況などを積極的に評価し、指導の改善を行い、子どもたちの学習意欲向上に努めていると思う。	2	0	0	0	0
	備考 (意見・改善策ほか)					
8	本校では、各学部の発達段階に合わせた様々な校内・校外での体験活動（創作活動やバス利用、買い物、公共施設利用など）を取り入れた指導を通し、社会自立に向けた指導を行っている。	1	1	0	0	0
	備考 (意見・改善策ほか)					
9	本校では、幼児児童生徒が主体的で意欲的に学校図書室を利用するよう促すための学習活動や読書活動の充実に努めていると思う。	0	0	1	0	1
	備考 (意見・改善策ほか)	・状況が把握できないので、無回答				
10	本校では教育相談や健康相談等について、子どもの指導や心身の健康についての相談に対し、真摯に対応していると思う。	2	0	0	0	0
	備考 (意見・改善策ほか)					
11	本校では、地域の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等と連携を図り、交流及び共同学習を行っていると思う。	1	1	0	0	0
	備考 (意見・改善策ほか)					
12	本校は子どもたちの安心・安全な学習環境を図るために避難訓練等の防災訓練を行っていると思う。	2	0	0	0	0
	備考 (意見・改善策ほか)					
13	本校では、情報保証のための教育環境の整備（集団補聴システム等）や施設設備（パトライト、掲示板・電光掲示板等）の充実に努めていると思う。	2	0	0	0	0
	備考 (意見・改善策ほか)					
14	本校では、PTA活動（PTA総会・PTA評議員会・交流スポーツ大会・手話研修会等）は活発であると思う。	0	0	0	1	1
	備考 (意見・改善策ほか)	・状況が把握できないため、無回答				
15	本校では学校からの便り（学部や学年、学級便り、図書、保健、給食、寄宿舎など）を通して、保護者に情報を絶えず提供し、機会あるごとに意見を求めていると思う。	0	2	0	0	0
	備考 (意見・改善策ほか)					
16	学校は、幼児児童生徒の教育的ニーズに応えるために真摯に取り組んでいると思う。	1	1	0	0	0
	備考 (意見・改善策ほか)					
17	学校では、いじめ防止に向けた対策を行っていると思う。	1	1	0	0	0
	備考 (意見・改善策ほか)	・どのような対策が行われているのかはわかりません。				
18	学校では、子どもたちへの体罰は行われていないと思う。	2	0	0	0	0
	備考 (意見・改善策ほか)					
学校をさらによくするためのご助言がありましたらお書きください。						
・活動報告から幼児児童生徒のコミュニケーション力の育成に努めているのは理解できるが、今後さらに言語能力(日本語力)の実態把握、知識の定着の工夫についても説明できるようにしてほしい。また、個に応じた社会自立(職業自立)及び生活自立の具体的な目標と取り組み状況の報告もあるとよい。						

令和7年度学校評価分析と対策

学校評議員

2名の方から回答がありました。皆さん直接学校へ意見を伝える場があるということだと思われる。概ね高評価の設問が多かった。

気になった設問について

設問9 図書室利用について。

現在、図書室の取り組みとして、毎月の図書だより、読書月間中のおすすめの本紹介、多読賞表彰、等に取り組んでいるが、さらなる図書室の活用、読書活動の推進に取り組む必要がある。

設問14 PTAについて。本校PTAの課題はやはり会員数の減少と校区の広さからくる活動時間の制約だと思われる。今後本校PTA活動を活性化するためにどのようにしたらよいのかPTA役員と話し合う必要がある。

自由記述には子供たちの社会参加と生活自立に向けた取り組みの充実への要望があった。

職員

職員66名中33名から回答があった。職員については年2回前期後期に分けて成果と課題の意見を集約する機会を設けて職員会議でも議題として取り上げているため。それが低い回答率になったと思われる。

今回のアンケートから、教育の質やセンター校としての対外的機能は非常に高いレベルで保たれている一方、働きやすさ・情報共有・個人裁量の時間確保に課題が集中していることが明らかになった。教育の質を高めるために、学校の働き方改革をさらに進めていく必要がある。さらなる業務の整理と適正化、校務DXの推進に取り組んでいく。

保護者

回答率 38名中15名の保護者から回答があった。

全体として肯定的な回答が多かったが気になる設問もいくつかあった。

実情がよくわからないので未回答という設問が2、5、13、17、で見られました。定期的なお便りや、授業参観、保護者面談等を通じて学校のことをもっと情報発信する必要がある。

設問1及び自由記述欄にスクールバスについての要望があった。学校としても保護者のニーズを把握して現在県教育委員会にスクールバス2台体制を要望している。

自由記述欄にエアコンの故障に対するご意見があった。昨年の夏、幼稚部のエアコン修理に時間がかかって子供たちの学習環境に支障をきたした。不具合発見後すぐに業者への

修理依頼を行ったが、原因の特定や部品の調達に時間がかかってしまった。その間、幼稚園の授業は寄宿舎や小学部、管理棟を利用して暑さをしのいだ。温暖化で年々夏の暑さが厳しくなっている。子供たちが快適に学べるよう学習環境の整備に万全を期したい。

児童生徒

対象は小学部児童、中学部・高等部の生徒の内、回答が可能な者となっている。担任が回答のサポートを行った。回答者は6名。

児童生徒も概ね肯定的な回答が多かった。

しかし、設問3いじめについての設問「学校ではいじめがない」という項目で「D かなり思わない」という回答が3名いた。回答者が特定できないので職員へ聞き取りを行ったが、いじめの確認はできなかった。本校でのいじめ対策として年に2回子供たちにアンケートを実施している。そして、子供たちから申し出があれば、担任以外の職員との面談を行うことができる。さらに年2回「いじめ防止対策委員会」を設け、いじめの防止、早期発見、いじめが認められた場合は学校全体で対応する体制づくりができています。2月13日に行ったいじめ防止対策委員会にはスクールカウンセラーにも参加してもらった。その後も、現在いじめは認められないという結果になった。結論として、児童生徒が設問の意味を勘違いしたのだと思われます。しかし今後もいじめの防止、早期発見に努めるよう職員が注意深く子供たちと接するようにする。